

# 研究推進機構総合研究院

## 次世代データマイニング研究部門講演会

2015年7月22日(水) 13:30-15:00

東京理科大学野田キャンパス講義棟 K201 教室

### 「青果物品質管理への遺伝子発現解析利用の試み」

講師：椎名 武夫 教授

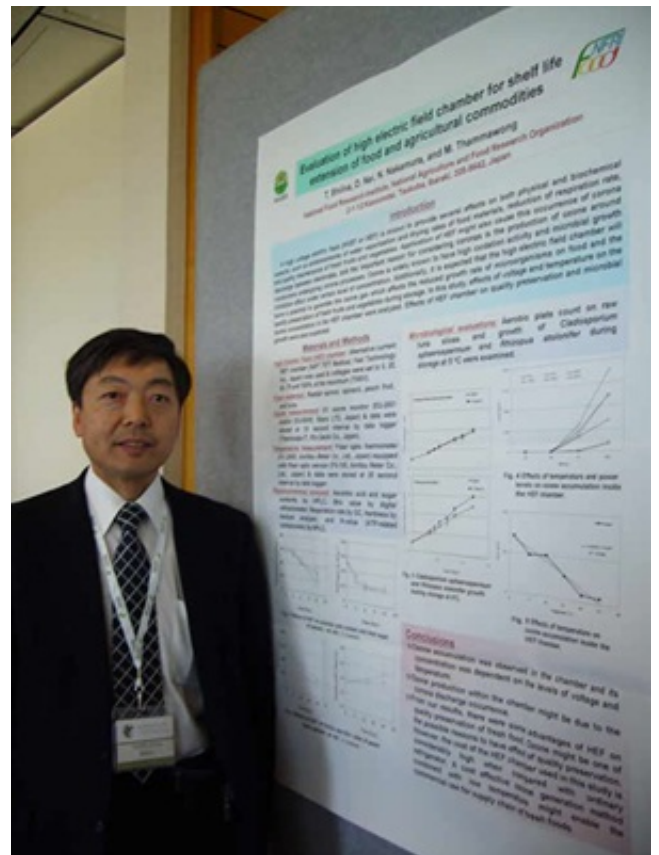
(千葉大学大学院 園芸学

研究科 生物資源科学コース

生物生産環境学領域)

【要旨】青果物は、収穫後も生命活動を維持していることに加えて、高含水率であること、一部を除いて保護組織が十分に発達していないことなどのため、物的流通（物流）時に、各種の品質変化を生じやすい。品質変化に影響を及ぼす環境因子には、温度、湿度、無機ガス組成、エチレン濃度、光、風、振動衝撃、微生物などがあり、これらの環境因子を適正に制御することで、品質保持が図られる。

本講演では、まず、代表的な環境因子と青果物の品質変化との関係について、概説する。次に、物理ストレスが青果物の呼吸、エチレン生成、および遺伝子発現変化に及ぼす影響について、演者らの研究事例を紹介する。さらに、数学モデルを使ってストレス応答の時間変化をモデル化する試みについて紹介する。



世話人：理工学部応用生物科学科 朽津 和幸